



9.1sat
Concert
Hall

読売日本交響楽団 マーラー交響曲 第2番「復活」



9.5wed
Playhouse

©岡本隆史

NODA・MAP 第17回公演 エッグ

Theatre Report

芸劇オープニングウィーク

1年半の改修を経て、9月1日生まれ変わった芸劇が再始動!

まだ夏の気配が残る東京・池袋。晴れ渡った青空のもと、新しい芸劇がスタートしました。リニューアルした劇場を彩ったのは、選りすぐりの演目の数々。

下野竜也&読響による マーラー交響曲 第2番「復活」

オープニング前日のリハーサルを終えた下野さんからは「響きマイルドになった」とうれしいコメントが。そして待ちに待った9月1日、力強くタクトが振り下るされ、それに応える堂々の演奏が芸劇の新たな始まりの時を告げました。一年半の改修期間を経て“生きた音”が約2000人のお客様を包み込みました。その瞬間、芸劇スタッフも改修にあたった関係者も、より良くなった音響面の変化を実感。今後たくさんの音が馴染み、芸劇コンサートホールらしい音が生み出されていくことに期待したいと思います。

野田秀樹最新作『エッグ』

改修にあたり、機能面も内装についても当館の芸術監督である野田秀樹が特にこだわったプレイハウス。見た目のイメージも一新したホールでは、

NODA・MAPの最新作『エッグ』がスタート。“この世にないスポーツ”の物語がくり繰り広げられています。今回野田からのラブコールで椎名林檎さんが劇中歌を担当。その楽曲はいつまでも耳に残り、この作品の持つ深いテーマを象徴するようです。エッグ=卵とは何か。世界か、歴史か、人間か、演劇か、それとも…。社会に対する鋭い視線が感じられる本作は10月28日までプレイハウスで上演中です。

カナダからやってきた『ひつじ』

地下1階、ロワー広場に放牧されたひつじたち。芸劇ではすっかり馴染みとなりましたが、もう一度観たいと訪れた方も、愛くるしい動きに思わず足を止めて初めて観た方も、その魅力のとりこになったようです。今回「めえ〜めえ〜」と鳴き声を真似する多くの子供たちの姿が見られました。『ひつじ』のインパクトとその影響力の大きさをあらためて実感した公演でした。

親子で楽しめる『ショックヘッド・ピーター』

ハンガリーから初来日したミュージカル。親も子も一緒になって大きな声で笑ったり、怖い“おし

おき”シーンには泣きそうになる子供の姿も。一方で「親が子供を怖がらせることだけが本当の親になるのか。」という問いかけは、社会において「政府が強引なルールで人を従わせることができるのか。」という隠された問題提起でもありました。独特な表現、新たな切り口から、世界にある様々な価値観を発見できる作品となりました。

どれも1夜限りのオムニバス『東京福袋』

“東京”というキーワードをもとに練り上げられた今注目の劇団・団体によるパフォーマンス企画。加えて、作家の自作自演によるリーディング、そして落語などを集めた企画。ジャンルを超えて「今日はどんな舞台が観られるのか?」と連日まさに何が出てくるか分からないお楽しみの“福袋”。それぞれが独自の表現を追求し、舞台芸術のあらゆる可能性を感じさせてくれました。

これからも多彩なラインナップで皆様のお越しをお待ちしています。新しいスタートを切った芸劇のこれからの、どうぞご期待ください。



9.1sat
ロワー
広場

TACT/FESTIVAL 2012 ひつじ



9.1sat
Theatre
East

photos by Eszter Gordon

TACT/FESTIVAL 2012
ジャンク・オペラ ショックヘッド・ピーター ~よいこのえほん~

伝統に裏付けられた確かな技術——

明治座舞台株式会社

舞台道具の製作や、東京芸術劇場ほかの舞台管理業務受託など、これからは皆様に多彩な舞台と新たな感動を提供し続けて参ります。

お問い合わせ先 ☎03(3660)3919
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2丁目31番1号

一般建設業 東京都知事 許可(般-22)第135048号
特定労働者派遣事業 特13-314311

人が集うところに、コトブキのイスがあります。

K・O・T・O・B・U・K・I

東京芸術劇場

コトブキシーティング株式会社

公共施設のイス 検索

東京都千代田区神田駿河台1-2-1 〒101-0062 サポートセンター TEL: 0800-170-7111 E-mail: seating@kotobuki.co.jp http://www.kotobuki-seating.co.jp